

# ロボット作りに挑戦したよ

おっ曲がった！



やった！

黒線を検知して走る「ライトレーサー」を見つめる子どもたち＝山形市・県産業科学館

山形

山形市の県産業科学館で24日、ロボット作り体験イベントが開かれた。親子などがコース上の黒線を光センサーで検知して走る車「ライトレーサー」を作り、ものづくりへの好奇心を高めた。

創学館高（天童市）のCSC（コンピュータ・システム・クラブ）の部員5人と顧問の大坂友人常勤講師（33）が先生となり、2回の教室を開催。1回目には4歳から小学6年生までの18人と保護者が参加した。部員が下準備した基盤に、可変抵抗やスイッチなどの部品をはんだ付けして、モーターやタイヤを取り付けた。

手先を使う細かい作業だったが、部員たちの手ほどきを受けて1時間ほどで完成。早速コースを走らせると、黒線を正確にたどるライトレーサーに満足そうに喜んだ。山形市金井小5年小笠原大騎君（11）は「カーブもちゃんと曲がり、うまくできた。はんだごてやセンサーに興味を持った」と目を輝かせていた。

（瀬野麻衣）